

●9月27日(日)開催 HNCM 企画例会

六甲山・歴史の道を歩く

「アイスロードからシュラインロードへ」

布引支部 伊知地厚子

この日、ニューサークル企画として考えられていたのは「延期されていた縦走のトレーニングをしよう!」とのことでした。計画を立てて頂く段階で頭に浮かぶのは、どうしても「今回歩く縦走コースをトレーニングとして歩くこと」となるのですが、トレーニングなんだから別に本番のコースを歩かなくても・・・ということになり、タイトル通りの企画となったのでした。



多くの参加者が集われました!

9時六甲ケーブル下駅集合。天気を気にしながら8時過ぎに着いてびっくり!すでにかなり多くの参加者が来られていました。本日のリーダーは渡田さんです。コース説明や、タイトルに関しての歴史背景などの説明があり、9時過ぎ出発しました。



アイスロードの入口までは車道歩きです!

アイスロードの取付き点(入口)は、旧ドライブエーと新道の交差する信号を渡り、5~60メートルほど登った右側から入ります。入り口を入った右奥に、昭和初期に作られたロープウエーの乗り場があったと聞いたことが有りましたが、木立の中でよくわかりませんでした。



さあ!アイスロードの始まりです!

ドライブウエーの下を潜る薄暗いトンネルの近くで水分補給の休憩を取りました。

アイスロードの名前の由来は、明治期に六甲山上の池で盛んに製造された天然氷を、麓まで運び降ろすのに利用されていた道であったことからその名が付いたとのこと。その頃はドライブウエーなどももちろんありませんし、こんな急勾配で石ころだらけの道を、牛車などに積んだ天然氷を、よくもまあ降ろせたものだと驚くばかりです!!・・・。



山上前ヶ辻へ出るまでに沢を2回渡りました!



ここからがアイスロードの登りです。前ヶ辻までは約400メートルの登りとなります。何度も立ち休憩し、大きく深呼吸をしたり、途中2回程沢を渡ったりしながら・・・10時40分、全員前ヶ辻へ登り切りました！！



六甲山ホテルの旧館前を通過する皆さん

当初の予定は、そのままダイヤモンドポイントへ行き、そこで昼食の予定でしたが、参加者は女性が圧倒的に多かったので、トイレのある記念碑台へ行ってそこで昼食タイムにすることになりました。



記念碑台の東屋でくつろぐOさんと2人の美女！



六甲山の父グループさんの銅像をバックに記念撮影

食事途中、一瞬でしたが雨がバラつき風が吹いて肌寒くなりましたが、身体を動かしていると温まり、出発前にグループ像の前で記念写真に納まりました。(皆さんの食事を終えた満足感いっぱい笑顔はイ～ですね！)

11時45分、ダイヤモンドポイントに向けて出発です。ダイヤモンドポイントの名の由来ですが、以前吉野会長にお聞きした話では「いろいろあるらしいのですが今と昔では少し異なるようです。昔はこの場所から眺める西側(今は北西側しか見えませんが)の眺めは六甲山上中最大の景勝地だったそうで、丹波や但馬、日によっては大山までの連山が望め、又、播州平野を超え淡路島や瀬戸内の島々なども望める場所であり、夕日の景観などの素晴らしさも含めて、最高の美しさの象徴であるダイヤモンドに例え評価されたところからそう呼ばれるようになったのでしょう。現在はそこまで望めませんので裏六甲の夜景が望める為、そう呼ばれているように言われていますが、前記の方が正しいようです。」とのことでした。



ダイヤモンドポイントにて

しばらく景観を楽しんだ後、ノースロードを経てシュラインロードに向いました。

「シュラインロードは、これから下る唐櫃の村を含め北摂方面で取れた野菜やコメなどの農産物を南側の灘や御影に運ぶための道であり、又、南側からはアイスロード(前ヶ辻道)を経て北側の村々に海産物を運ぶ道、つまり、北と南を結ぶ生活道路として開かれた道だったのです。そうすると山中は物騒で、たびたび盗賊などが出て、血なまぐさいことが起こったのでしょう！そこで、道中の安全や商売繁栄を願って、地元の人々により石仏が建立され、行者堂など

が作られ、盛んにお参りされたものと思われます。そして、山上を闊歩していた外国人によっていつのころからかシュラインロードと呼ばれるようになったのです。」・・・と、聞き覚えていたことを記してみました。



37体?もあるらしい石仏・・・(写真はネットより)



そんな記憶をたどっている内に、この道のメイン場所である行者堂に着きました。久しぶりに来ましたが、歴史を感じる場所で趣が有ります。しばらく休憩した後、出発。シュラインロード北側の取付き口までは下りとなります・・・。裏六甲ドライブウエーを横切り、逢山峡への道へ出たら後は神鉄有馬口駅まで40分程。皆さん、足取りも軽く歩かれました。途中、唐櫃支部の吉田支部長が迎えて下さり、山王神社まで引率。山王神社では無事下山の報告と御礼をしました。



有馬口駅にて終礼解散の風景

今回は秋の気配を感じながらの楽しいトレーニングとなったことに感謝です！

有難うございました。

天候 曇り後晴れ

参加者 32名(内会員31名)

追記：写真協力/旗振支部 勝田 徹